



Race Report

28 October, 2012

タイトルを狙う triple a vantage GT3に悲劇 マシントラブルでまさかの予選ノータイム

【公式練習】 天候：晴 | コース：ドライ | 気温/路面温度 開始19度/22度 > 終了21度/31度
【公式予選】 天候：晴 | コース：ドライ | 気温/路面温度 Q1開始時20℃/30℃、Q3終了時19℃/26℃



いよいよシーズンの最終戦を迎える事となった2012年スーパーGTシリーズ。その舞台は栃木県に位置するツインリンクもてぎ。そして国内屈指のテクニカルサーキットとも言われるここもてぎにタイトル獲得の条件を残しやってきたのはチーム結成わずか3年目のA speedを含む3チーム。泣いても笑っても全てが決する今年一番の大舞台に、吉本大樹も必勝を期しやってきた。

迎えた初日。やや雲が多かった早朝から徐々に晴れ間が覗き、セッション開始直前にはますますの秋晴れとなったこの日のツインリンクもてぎ。そんな中、最初の公式セッションとなる公式練習が午前9時30分から始まった。するとこのセッション序盤から早くもチャンピオン獲得の可能性を残す3チームが火花を散らす。まずコースオープンから積極的に走行をしたのは、ドライバーズ・ランキング2位のNo.66 triple a vantage GT3と同3位のNo.911 エンドレスTAISAN 911。この2台はまるで予選Q3を戦っているかの様な異次元のタイム争いを展開、まずは開始から7分過ぎにtriple a vantage GT3が1'50"465をマークしタイミングモニター最上段に名を連ねる。しかし直後にNo.911 エンドレスTAISAN 911がこのタイムを上回ってくる。さらにセッション中盤以降にはランキングトップで最終戦へとやってきたNo.33 HANKOOK PORSCHEも大幅にタイムアップ、トップ争いに絡み出し、結局このセッションはタイトルを争う3台がわずか0.601秒差でトップ3を形成。予選、そして決勝に向け緊張感の高まる展開となっていく。ところがセッションも終盤を迎えたところでtriple a vantage GT3に悪夢が襲いかかる。なんとウォーターポンプのプーリーが抜けてベルトが外れるという、予想もしなかったまさかのトラブルでコース上にストップ。2番手タイムをマークし順調だった立ち上がりから一転、予選に向け暗雲が立ち込め始める事になってしまう。

予想だにできなかったトラブル、さらにトラブルの箇所の修復にはある程度の時間を要する為、予選には応急処置のみを施し挑むしか道がなくなってしまったtriple a vantage GT3。それでもマシンの速さは確認済み、何とか予選を乗り切れば決勝に向けた希望も出てくる。そんな願いにも似た思惑を持って挑んだ予選Q1セッション。ところがその願いはコースイン直後に砕かれてしまう。他陣営のマシンがコースへと向かった後、最後にコースに向かったtriple a vantage GT3であったが、応急処置だけではトラブルを抑える事が出来ず、結局マシンはアウトラップを走り切る前にストップ。この時点で予選ノータイムが確定し、決勝はまさかの最後尾スタートとなってしまった。

12' SUPER GT SERIES Round_8 / Motegi
2012.10.27 (Sat) Free Practice & Qualify
Text : www.hiroki-yoshimoto.com

【Aspeed Official Site】 <http://www.aspeed.co.jp/>
【SUPER GT SERIES Official Site】 <http://www.supergt.net/jp/>
【吉本大樹 Official Site】 <http://www.hiroki-yoshimoto.com/>

PERSONAL SPONSORS

PARTNERS



Race Report

28 October, 2012

triple a vantage GT3、最後尾から5位まで浮上 タイトルは逃すも、堂々のシリーズ3位を獲得!!

【決勝】 天候：雨 | コース：ウェット | 気温15度 路面温度18度

午前8時頃には雨がパラついた日曜日のツインリンクもてぎ。しかしその後雨は上がり午前9時からのサーキットサファリに続いて行われたフリー走行では完全なドライコンディションでの走行となった。

昨日の予選Q1でトラブルに見舞われノータイムに終わったNo.66 triple a vantage GT3は、このセッションでコースオープンと共に積極的に走行。サーキットサファリが終わるとすぐに1'51"265のトップタイムをマークする。最終的な順位では1'51"047の3番手となったものの、「メカニックが寝る間を惜しんで修復してくれた」というマシンで調子を取り戻し、最後尾からの追い上げという最後の希望を胸に決勝のグリッドへとマシンを並べる。

午後零時55分に始まった8分間のウォームアップでは雨が降る中での走行となったものの、スタート時刻の午後2時が近くと雨は小康状態に。それでも路面はウェットのままで各陣営ともにタイヤチョイスに悩むこととなったが、結局53週の決勝レースはセーフティカー先導でのスタートとなった。

決勝レースのポールポジションはランキングトップのNo.33 HANKOOK PORSCHE、そして最前列のすぐ隣には同2位のNo.911 エンドレスTASAN 911が並び、最後尾スタートのNo.66 triple a vantage GT3とランキングトップNo.33 HANKOOK PORSCHEのポイント差は4ポイント。triple a vantage GT3は勝てばその時点で自力でチャンピオンを獲得、仮に911号車に前を行かれ同マシンが優勝した場合でも、triple a vantage GT3が2位、No.33 HANKOOK PORSCHEが3位に入った場合、全車同点で2位の回数が多いtriple a vantage GT3のチャンピオン獲得となる。つまり、まずはPPスタートのNo.33 HANKOOK PORSCHEの前に出る事がタイトル獲得への最低条件となる。そんな厳しい状態の中、スタートでtriple a vantage GT3に乗り込んだのは星野選手。するとその星野選手はスタート直後から怒涛の追い上げを見せる。

レースはポールから逃げるNo.33 HANKOOK PORSCHEの背後に、No.911 エンドレスTASAN 911がピタリとつける展開。しかしペースが上がらないHANKOOK PORSCHEは、8周目のヘアピンコーナーでエンドレスTASAN 911に首位を明け渡す。HANKOOK PORSCHEはさらにその後もNo.87 JLOCランボルギーニGT3やNo.88 マネバランボルギーニGT3、No.0 GSR初音ミクBMW等にも相次いで抜かれ、序盤で7番手までポジションダウン。すると観客の目はタイトルを争うトップ争いと同時に、その後方から一気に追い上げてきたtriple a vantage GT3に釘付けとなる。なんと星野選手はスタートからわずか13周でHANKOOK PORSCHEの後ろ8番手まで浮上。さらにすぐさまHANKOOK PORSCHEもかわり7番手にポジションアップ。タイトルを争う一角を序盤で攻略する事に成功する。

大逆転タイトル獲得に向け望みを繋ぐ追い上げを見せるtriple a vantage GT3は、その後5番手にまでポジションを上げたところでピットイン。ここでドライバーチェンジを行い、奇跡のタイトル獲得を吉本大樹に託していく。この時点でトップに行くのはタイトルを争うNo.911 エンドレスTASAN 911であったが、triple a vantage GT3は自力で2位まで上がればチャンピオン獲得が決まる。この日の速さと勢いを持ってすれば不可能な展開ではないと誰もが思い始めていた。ところがここでその勢いに水を差す事態が起こる。なんとピットロードでの速度違反があったとしてtriple a vantage GT3にドライブスルーペナルティの裁定が出されたのである。原因は「リミッターは効いていたのにスピードが上がってしまっていた。明確な原因はわからないが、雨の影響で何かしらの不具合が出ていた可能性がある(A speed)」というものであったが、これでtriple a vantage GT3は7番手にポジションを落とす事になってしまった。

一時は奇跡の逆転劇も現実味を帯びる展開を見せたtriple a vantage GT3。しかしこのペナルティで失ったポジションはあまりに痛かった。吉本大樹も最後まであきらめる事無くNo.33 HANKOOK PORSCHEやNo.3 S Road FEITO NDDP GT-Rをパスするなど追い上げを見せたものの、その晩回も5位までが精一杯。結果triple a vantage GT3はこのレースを5位でフィニッシュする事になり、タイトルにはわずかに手が届かず。シリーズランキング3位という結果で今シーズンのシリーズ戦を終える事となった。

チーム結成からわずか3シーズンでタイトルを争うまでに成長したチームA speed。しかしこのレース終了後に驚きの発表が待っていた。その内容はなんと「チームA speedは今シーズンをもって解散する」というもの。今シーズン残るレースは11月に行われるJAF杯のみ。わずか3年間でGT300クラスの中核のチームに成長したA speed&triple a vantage GT3にとって最後のレースでの快走が期待される。

12' SUPER GT SERIES Round_8 / Motegi

2012.10.28 (Sun) Final

Text : www.hiroki-yoshimoto.com【Aspeed Official Site】 <http://www.aspeed.co.jp/>【SUPER GT SERIES Official Site】 <http://www.supergt.net/jp/>【吉本大樹 Official Site】 <http://www.hiroki-yoshimoto.com/>

PERSONAL SPONSORS

PARTNERS

HY Management Co., Ltd.
info@hy-management.com
www.hiroki-yoshimoto.com



Race Report

28 October, 2012

吉本大樹コメント

非常に残念な気分もありますが、絶望的な状況の中から一樹君（星野選手）の熱い走りもありあそこまで追い上げられたこと、アップダウンは激しかったものの結成3年目のチームがここまでチャンピオンシップを争えた事を誇りに思いますし、スッキリしています。

2012年シーズンが終わった事に対する寂しさと、来期に向けての意欲が入り混じった感情に居る時、チームから発表のあったチーム解散という言葉に心底驚いています。それはもう決定してしまった事ですし、もうどうしようもないことですが、本当に残念でなりません。もったいない…。今年最後のイベントであるJAF戦がA speedとして最後のレースになります。そのJAF戦でA speed3年間の集大成を魅せるレースをしたいと思います。



PHOTO



PERSONAL SPONSORS

TWS

Corniche

S&I

VAPSn XPEL
Car Protection Specialist

esprit Car Beauty Factory

金剛防災

PARTNERS

PL0T2

Arai

SIDEWINDERS

HY SPEED

BlackFlys